

埼玉県地域保健医療計画(第7次)に係る圏域別取組の取組状況

(平成30年度～令和5年度)

1	秩父郡市医師会	……	1頁
2	秩父郡市歯科医師会	……	15頁
3	秩父郡市薬剤師会	……	22頁
4	保険者協議会	……	28頁
5	看護協会	……	34頁
6	秩父市	……	40頁
7	横瀬町	……	49頁
8	皆野町	……	58頁
9	長瀨町	……	64頁
10	小鹿野町	……	70頁
11	秩父消防本部	……	77頁
12	埼玉県秩父福祉事務所	……	83頁
13	埼玉県秩父保健所	……	87頁

01 秩父郡市医師会

平成30年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ①秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。その中で、休日診療所、在宅当番医制に限り診療時間の延長等の検討を行い、平成31年度から新体制となる。
- ②地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ③ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ④1市4町の実務者と医師会役員が会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべくちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議を設置し、成果を挙げている。
- ⑤埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。
- ⑥ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
- ⑦将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑧厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑨糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑩予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。
- ⑪新型インフルエンザ等発生時の対策として、県、1市4町と共同し、住民接種マニュアルの構築に向けて協力している。
- ⑫健康講演会を開催し、地域住民の健康の保持増進に努めている。
- ⑬学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした食物アレルギー対策の講演会の実施や運動器検診に努めている。

⑭発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和元年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ①秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。昨年度、計画立案し決定した休日診療所の診療時間の延長により4月より診療開始となる。また二次救急輪番体制の再構築が必要な現状を確認し、各関係機関と対応を協議中である。
- ②地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ③ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ④1市4町の実務者と医師会役員が会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。
- ⑤埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑥ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
- ⑦秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑧厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑨糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑩予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。その中で大人の風しん抗体検査・予防接種への協力、二種混合ワクチン予防接種の学校内での集団接種から個別接種へ変更し実施している。
- ⑪新型インフルエンザ等発生時の対策として、県、1市4町と共同し、住民へのワクチン接種マニュアルの構築に向けて協力している。

- ⑫災害医療等に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画している。
- ⑬市民健康講座等を開催し、地域住民の健康の保持増進に努めている。
- ⑭学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした食物アレルギー対策の講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑮発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和2年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。計画立案し決定した休日診療所の診療時間の延長を継続中である。また二次救急輪番体制の再構築が必要な現状を確認し、各関係機関と対応を協議中である。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR検査センター、診療・検査機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
- ③ 地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ④ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑤ 1市4町の実務者と医師会役員が会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。
- ⑥ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。
特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑦ ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
- ⑧ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑨ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑩ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。
特に令和2年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、冬季発熱者の減少に努めた。

- ⑫ 新型コロナウイルスワクチンの、全郡市民接種に向けての準備を行政機関と協力して進めている。
- ⑬ 災害医療等に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画している。
- ⑭ 地域住民への健康啓蒙活動を、講演の他、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症関連について、特に力を入れた。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした食物アレルギー対策の講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和3年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。休日診療所は、日曜・祝日9時から18時、執務2名体制で対応している。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR検査センター、診療・検査医療機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
 - ・新型コロナウイルス中和抗体薬、内服薬の圏域内各医療機関での投与体制の確立。
 - ・コロナウイルス後遺症外来の圏域内設置準備。
- ③ 地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ④ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑤ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。
- ⑥ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。
特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑦ ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
 - ・ACP人生会議普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力
- ⑧ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑨ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑩ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。

- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和3年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、冬季発熱者の減少に努めた。
- ⑫ 新型コロナワクチン予防接種事業として
- ・ 1市4町と協力しながら、地域を分けずに秩父地域内であればどこでも接種可能な秩父方式として実施。
 - ・ 各医療機関における個別接種ばかりでなく、行政の集団接種（5か所）への医師、看護師の派遣を行った。また医師会館（休日診療所）を接種会場として毎日曜日、土曜日に一般住民、エッセンシャルワーカー、医療従事者への接種を行った。
 - ・ 新型コロナウイルス陽性者に対する自宅療養支援体制による健康観察、往診の実施。
 - ・ 新型コロナワクチン予防接種健康被害調査委員会への参画。
- ⑬ 災害医療等に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画している。
- ⑭ 地域住民への健康啓蒙活動を、講演の他、ホームページ、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種推進について、特に力を入れた。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和4年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。休日診療所は、日曜・祝日9時から18時、執務医師2名体制で対応。
- ② 地域健・検診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ③ 本会からの働きかけと、会員（眼科）の協力により、1市4町の全てで、屈折検査器機を用いた3歳児視力検査を開始。
- ④ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑤ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。特に令和4年度は地域内の新型コロナ対策、ワクチン接種の実務者協議の場としての役割を果たした。
- ⑥ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑦ ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
 - ・ACP人生会議普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力
- ⑧ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑨ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑩ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和4年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、新型コロナとインフルエンザ

の同時流行の予防に努めた。

- ⑫ 災害時の医療提供対策に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画。
- ⑬ 患者およびその家族から医療・介護従事者への暴力、ハラスメント対策として、担当役員を置き、安全対策事業を開始。
- ⑭ 地域住民へのさまざまな健康啓蒙活動を、講演の他、ホームページ、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種推進について、特に力を入れた。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

新型コロナウイルス対策

- ① 新型コロナウイルス感染症対策への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR検査センター、診療・検査医療機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
 - ・新型コロナウイルス中和抗体薬、内服薬の圏域内各医療機関での投与体制の確立。
 - ・コロナウイルス後遺症外来の圏域内設置。
 - ・新型コロナウイルス陽性者に対する自宅療養支援体制による健康観察、往診の実施。
- ② ちちぶワクチン推進会議にて、管内1市4町の首長との意見交換、情報共有を図っている。内容はワクチン接種の計画や接種状況にとどまらず、新型コロナ感染症全般にわたっている。
- ③ 新型コロナ患者数増加（第7波・第8波）に合わせて、7月～9月、12月～2月の休日に2次救急病院、休日診療所、在宅当番医以外の診療・検査医療機関を臨時に設置し、検査、治療に当たった。
- ④ 医師会休日診療所を休日の発熱外来として整備し、大勢の患者を受け入れ検査、治療した。
- ⑤ 医師会休日診療所では、希望者に新型コロナウイルス抗原キットを無料配布した。

⑥ 新型コロナワクチン予防接種事業として

- ・ 1市4町と協力しながら、郡市民であれば秩父地域内どこでも接種可能な秩父方式として実施。
- ・ 各医療機関における個別接種ばかりでなく、行政の集団接種（5か所）への医師、看護師の派遣を行った。また医師会館（休日診療所）でも接種を行った。
- ・ 新型コロナワクチン予防接種健康被害調査委員会への参画。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和5年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制）、県特殊救急医療体制（SSN・SAN）に努めている。
休日診療所は、日曜・祝日9時から17時、執務医師2名体制で対応。
- ② 地域健・検診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。また積極的に特定保健指導を行っている。なお新たにABC検診事業を開始した。
- ③ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ④ 1歳6ヶ月児検診、3歳児検診、また屈折検査器機を用いた3歳児視力検査を行っている。
- ⑤ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑥ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討するべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置。特に令和5年度は地域内の新型コロナ対策、ワクチン接種の実務者協議の場としての役割を果たした。
- ⑦ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町、各訪問看護ステーションと共同で事業を進めている。
- ⑧ ちちぶ版在宅緩和医療体制を構築し、高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
・ACP人生会議普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力
- ⑨ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑩ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和5年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、新型コロナとインフルエンザの同時流行の予防に努めた。

- ⑫ 大規模災害時の医療提供対策に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会、訓練等へ参画している。
- ⑬ 患者およびその家族から医療・介護従事者への暴力、ハラスメント対策事業を展開している。
- ⑭ 地域住民へのさまざまな健康啓蒙活動を、講演の他、ホームページ、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員、父兄を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 行政と共同で管内の公立、私立保育所並びに幼稚園におけるアレルギー生活管理指導表の書式統一を図る。
- ⑰ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。
- ⑱ 介護認定二次審査会、障がい者自立支援審査会に多職種と連携しながら事業に取り組んでいる。

新型コロナウイルス対策

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR 検査センター、診療・検査医療機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
 - ・ 新型コロナウイルス後遺症外来の圏域内設置。
- ② ちちぶワクチン推進会議にて、管内 1 市 4 町の首長との意見交換、情報共有を図っている。内容はワクチン接種にとどまらず、新型コロナウイルス感染症全般にわたっている。
- ③ 新型コロナ患者数増加に合わせて、2 次救急病院、休日診療所、在宅当番医以外の診療・検査医療機関を臨時に設置し、診療検査、治療に当たった。
- ④ 医師会休日診療所を休日の発熱外来として整備し、大勢の患者を受け入れ検査、治療した。
- ⑤ 新型コロナワクチン予防接種事業として
 - ・ 郡市民であれば秩父地域内どこでも接種可能な秩父方式として実施。
 - ・ 各医療機関における個別接種ばかりでなく、管内の集団接種への医師、看護師の派遣を行った。また医師会館（休日診療所）でも接種を行った。

・新型コロナワクチン予防接種健康被害調査委員会への参画。

- ⑥ 新型コロナの5類移行後、管内の感染状況をいち早く判断するため、管内医療機関を受診した陽性患者数を集計し情報提供。また医師会 HP でも地域住民向けに公開している。10月からはインフルエンザも同様に調査、公開している。

02 秩父郡市歯科医師会

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

① 地域在宅歯科医療推進体制整備事業の推進

- ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」を開設、歯科衛生士を常駐し電話対応により相談業務
また必要に応じ歯科医師を派遣し訪問診療実施し更なる推進を図っている。
- ・地域の病院と連携し、入退時を含め切れ目ない歯科医療提供的とした、口腔内状況の把握
のため口腔アセスメント及び管理の実施、推進

② 休日 在宅歯科診療の 実施

- ・年末年始や GW 等の連休を中心に会員の輪番制で実施、住民の皆さん急な歯痛等に対応
すべく歯科医療を提供できる体制の実施

③ 地域住民向けの公衆衛生事業として「歯～とふる秩父」を開催し、文化講演会・8020 よい 歯のコンクール、ポスター・標語啓発コンクールの表彰を行っている。

④ 口腔機能向上事業

- ・疾病、認知機能の低下、オーラルフレイル予防を通じて健康寿命延伸も寄与する口腔機能
の維持・向上を目的とした講習会等事業の実施

⑤ 1市4町の健康まつり会場における歯科健診の実施

- ・多くの地域住民に方々に歯科健診の受けていただく機会なるよう、また健診の必要性・口腔
ケアの重要性についての啓発となるよう歯科健診実施

⑥ 地域包括ケア構築の為、高齢者が住み慣れたで安心して暮らせる地域を目指して行政なら びに多職種との連携を積極的に進めている

⑦ ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション 分科会）へ委員派遣

⑧ 障害者施設の健診ならびに職員向け口腔ケア研修会実施

- ・障害者入所施設利用の歯ならびに口の健康を施設職員の向上させるとともに、施設職員の
歯科口腔保健に関する知識の向上を図っている

⑨ 事業所健診を中小企業を中心に今春・秋の健診から実施

⑩ 市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣、協力

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会
記入者名・連絡先 高田直樹 みつはし歯科 (75-0050)

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
地域病院と連携し、口腔アセスメントおよび管理の実施
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、地域住民向けの公衆衛生事業
 - ・「歯～とふる秩父」の開催
8020 よい歯のコンクール、ポスター・標語啓発コンクールの表彰を実施
住民向けの文化講演会を開催し、公衆衛生の啓発を行っている
- 4、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため、講演会等の事業を実施
- 5、歯科健診事業
 - ・健康まつり会場での健診・歯科相談の実施
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 6、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・秩父医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への医院派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会

記入者名・連絡先 高田直樹 みつはし歯科 (75-0050)

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
地域病院と連携し、口腔アセスメントおよび管理の実施
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため、講演会等の事業を実施
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・健康まつり会場での健診・歯科相談の実施
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・秩父医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への医院派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会

記入者名・連絡先 高田直樹 みつはし歯科 (75-0050)

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
地域病院と連携し、口腔アセスメントおよび管理の実施
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の事業を実施
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・健康まつり会場での健診・歯科相談の実施
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・秩父医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への医院派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会
記入者名・連絡先 高田直樹 みつはし歯科 (75-0050)

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
 - ・災害対策への取り組みとして歯科医師に向けた Web での講演を開催
 - ・歯～とふる秩父にて、災害時の備えとして一般に向けた講演会を開催
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の事業を実施
 - ・口腔機能向上についてのチラシを入れたマスクを各医院や行政の窓口で配布
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への委員派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている
 - ・秩父保健所管内歯科口腔保健連携会議にて、秩父郡市内での歯科口腔保健推進に向けた話し合いを実施した

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会

記入者名・連絡先 高田直樹 みつはし歯科 (75-0050)

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の実施
 - ・保健センターまつりにて「オーラルフレイル」についての講演を実施
 - ・災害時の口腔に対する周知、「お口の防災グッズ」の作成と配布
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・各地域で行われる健康まつり会場での歯科健診を実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への委員派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている
 - ・秩父保健所管内歯科口腔保健連携会議にて、秩父郡市内での歯科口腔保健推進に向けた話し合いを実施した

03 秩父郡市薬剤師会

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の 実施
- ・管理栄養士居宅療指導の実施
- ・月 1 回 薬局窓口での 健康相談、 お薬栄養相談
- ・地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会開催（チャオ）
- ・保健センターまつりにおいて検体測定室での血液検査実施（HbA1c）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会
- ・医療材料・衛生の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・介護支援専門員等への訪問薬剤師説明
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳推進
- ・在宅推進連携会議（訪問看護との交流研修）
- ・福祉関係者、介護支援専門員等へのおくすり勉強会開催
- ・地域ケア会議への参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェ の開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開設
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開設

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市薬剤師会

記入者名・連絡先

今泉 直樹

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養などの防止の成果）
- ・月1回 薬局窓口での健康、お薬、栄養相談会開催
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、茶話会）
- ・保健センターまつりにおいて検体測定室での血液検査実施（HbA1c）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会開催
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・介護支援専門員等への訪問薬剤管理指導説明
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・在宅推進連携会議（訪問看護との交流研修）
- ・福祉関係者、介護支援専門員等へのおくすり勉強会開催
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）へ参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局（対応時間延長）
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局（毎週日曜日）

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市薬剤師会

記入者名・連絡先

今泉 直樹

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、茶話会）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会開催
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）へ参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局（第2、第4日曜日）

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市薬剤師会

記入者名・連絡先

今泉 直樹

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、茶話会）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会開催
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）へ参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局（第2、第4日曜日）

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市薬剤師会

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養食事指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養、褥瘡などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、オンラインでの開催も）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施（在宅地域ケア勉強会）
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）への参画
- ・キッチンカーで山間部や限界集落へ出向いてのサロン活動

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中高等学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局

※数項目を選定し、1頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市薬剤師会

記入者名・連絡先 小林 悟 24-5581

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養食事指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養、褥瘡などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会 年2回）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施（在宅地域ケア勉強会）
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）への参画
- ・キッチンカーで山間部や限界集落へ出向いてのサロン活動、地域包括と連携しての活動
- ・新型コロナウイルス感染症の患者への緊急訪問対応

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中高等学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局

※数項目を選定し、1頁に収まるように簡潔に御記入ください。

04 保険者協議会

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

国民健康保険の保険者である市、町は、被保険者の健康保持増進、健康寿命の延伸を目的とし、また、医療費の削減につながるものとして保健事業に注力しています。国保担当と健康増進担当が組織一体的となって保健事業に取り組み、実効性の高い保健事業を進めています。

【生活習慣病対策の推進】

※根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条

○特定健康診査及び特定保健指導の実施・受診率向上対策

国民健康保険では、40歳以上の被保険者を対象に、生活習慣病の発症および重症化の予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施し、健康管理を促進し、健康保持増進、健康寿命の延伸につなげています。また、特定健診の重要性を周知し、わかりやすい受診案内や未受診者への受診勧奨など、受診率向上対策に取り組み、受診率は年々上がっています。

特定健康診査は、指定会場で行う集団健診と指定医療機関で行う個別健診により実施しています。

・小鹿野町は35歳以上を対象 ・皆野町は個別健診のみ実施

○保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定

これまでの保健事業の取組を振り返り、特定健診の結果やレセプトデータ等の健康や医療に関する情報を活用して、効果的かつ効率的な保健事業を進めています。

○健康ポイント事業の実施（市町村独自事業）：健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、住民の健康保持増進を目的とする保健事業を進めています。

・秩父市版健康マイレージ ・横瀬町わくわくポイント事業 ・Minano ポイントカード ・長瀬町はつらつポイントカード ・いきいきおがの健康マイレージ

【自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進】

皆野町：自殺予防ゲートキーパー研修会の参加 ～あなたが大切な人にできること～悩んでいる人をサポートする方法～をテーマに年2回参加。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者協議会

記入者名・連絡先 保険年金課 松本靖 25-5201

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

国民健康保険の保険者である市、町は、被保険者の健康保持増進、健康寿命の延伸を目的とし、また、医療費の削減につながるものとして保健事業に積極的に取り組んでいます。国民健康保険、後期高齢者医療の担当と健康増進担当が組織一体的となって保健事業に取り組み、実効性の高い保健事業を進めています。

○生活習慣病予防及び重症化防止対策の推進

- ・特定健康診査及び特定保健指導の実施・受診率向上対策

国民健康保険では、40歳以上の被保険者（小鹿野町は35歳以上）を対象に、生活習慣病の発症および重症化の予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施し、健康管理の促進を図っています。また、健康診査の重要性を周知し、未受診者への受診勧奨など、受診率向上対策に取り組み、受診率は徐々に上がっています。

- ・保健事業実施計画（データヘルス計画）を活用した保健事業の推進

特定健診の結果やレセプトデータ等の健康や医療に関する情報を活用して、効果的かつ効率的な保健事業を進めています。

- 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 □食塩摂取量推定調査（特定健診時）

○フレイル予防対策事業（後期高齢者医療）

- ・後期高齢者健康診査の実施

後期高齢者医療では、令和2年度からフレイル予防に着目した健康診査を実施するため、問診票の改訂等準備を進めています。

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組

高齢者の心身の多様な課題（フレイル予防）に対応し支援を実施するために、広域連合と連携内容を明示し、介護予防に関する支援事業や国保の保健事業と一体的な取組が令和2年度から始まります。各市町で協議を進めています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。

- ・埼玉県コバトン健康マイレージ（秩父市は令和2年度から参加）

- ・秩父市版健康マイレージ ・横瀬町わくわくポイント事業 ・Minano ポイントカード ・長瀬町はつらつポイントカード ・いきいきおがの健康マイレージ

○人間ドック検診費補助事業

皆野町・小鹿野町30歳以上、秩父市・横瀬町35歳以上、長瀬町40歳以上の被保険者を対象に、生活習慣病、その他の疾病の早期発見を目的とする総合健康診査(人間ドック) 検診費の一部を補助しています。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者協議会
記入者名・連絡先 保険年金課 松本靖 25-5201

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■生活習慣病予防及び重症化防止対策の推進

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。コロナ禍で制約を受けるなかで、感染拡大防止対策を講じながら保健事業を実施しました。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上の被保険者（小鹿野町は35歳以上）を対象に、特定健診及び特定保健指導を実施し、健康管理の促進を図っています。また、診療情報提供事業や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。

皆野町は、新規にAI（人工知能）を用いて健診データ等を解析し、特性に基づいた行動変容を促すメッセージで受診勧奨を行いました。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀬町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック受診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。保健事業の実施状況や成果・課題等の中間評価を行いました。

○後期高齢者健康診査の実施（フレイル予防対策）

後期高齢者医療では、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組（フレイル予防対策）

高齢者の心身の多様な課題に対応するため、介護予防に関する支援事業と保健事業の一体的な実施を進めています。通いの場（地域活動）での健康教育や健康相談、運動指導、個別支援によるフレイル予防指導や疾病の重症化予防などに取り組んでいます。

○糖尿病性腎症重症化予防事業※皆野町は保険者事業で報告。以外の市町は一般事業としています。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨を実施。また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。

- ・埼玉県コバトン健康マイレージ（ウォーキングにより健康増進を図る。）
- ・各市・町独自の健康ポイント事業（健康診査、がん検診、健康教室等への参加等により健康増進を図る。）

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者協議会

記入者名・連絡先 保険年金課 岡田由美 25-5201

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■生活習慣病予防及び重症化防止対策の推進

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。昨年同様コロナ禍による制約を受けるなかで、感染拡大防止対策を講じながら保健事業を実施しました。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上、小鹿野町は35歳以上の若年層も視野に入れ、被保険者の特定健診及び特定保健指導を実施し健康管理の促進を図っています。また、各医療機関にご協力いただきながら診療情報提供事業の実施や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。

対象者へのアンケートや受診勧奨通知の発送、特に皆野町は、AI（人工知能）を用いて健診データ等を解析、対象者をタイプ別に細分化し、特性に基づいた行動変容を促すメッセージで受診勧奨を行いました。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀬町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック受診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。昨年度の中間評価を基に、健康寿命の延伸に向け効果的な保健事業に取り組んでいます。

○後期高齢者健康診査の実施（フレイル予防対策）

後期高齢者医療では、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組（フレイル予防対策）

高齢者の心身の多様な課題に対応するため、介護予防に関する支援事業と保健事業の一体的な実施を進めています。医療専門職による通いの場（地域活動）での健康教育や健康相談、運動指導、また、皆野町の転倒ハイリスク者への訪問指導や横瀬町の高血圧者への食事指導など、健診データを活用した個別支援によるフレイル予防指導や疾病の重症化予防などに取り組んでいます。

○糖尿病性腎症重症化予防事業。

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨、また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。

・埼玉県コバトン健康マイレージ（ウォーキングにより健康増進を図る。）

・各市・町独自の健康ポイント事業（健康診査、がん検診、健康教室等への参加等により健康増進を図る。）

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町福祉課

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■特定健康診査受診率向上対策事業

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上（小鹿野町は35歳）の若年層も視野に入れ、被保険者の特定健診及び特定保健指導を実施し健康管理の促進を図っています。また、各医療機関にご協力いただきながら診療情報提供事業の実施や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。各市町において対象者をタイプ別に細分化し、特性に基づいた内容の案内を送るなど受診勧奨に工夫をこらしています。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀨町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドックの健診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。2年度の間評価を基に、健康寿命の延伸に向け効果的な保健事業に取り組んでいます。

○後期高齢者健康診査の実施

後期高齢者医療では、筋力や心身の機能低下予防対策として、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組

高齢者の心身の多様な課題に対応するため、介護予防に関する支援事業と保健事業の一体的な実施を進めています。医療専門職による通いの場（地域活動）での健康教育や健康相談、運動指導、また、皆野町の転倒ハイリスク者への訪問指導や横瀬町の高血圧者への食事指導など、健診データを活用した個別支援によるフレイル予防指導や疾病の重症化予防などに取り組んでいます。

○糖尿病性腎症重症化予防事業。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨、また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。埼玉県コバトン健康マイレージに参加しています。

令和5年度秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町福祉課

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■特定健康診査受診率向上対策事業

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上（小鹿野町は35歳）の若年層も視野に入れ、被保険者の特定健診及び特定保健指導を実施し健康管理の促進を図っています。また、各医療機関にご協力いただきながら診療情報提供事業の実施や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。各市町において対象者をタイプ別に細分化し特性に基づいた内容の案内を送ったり、インセンティブとして賞品を贈呈するなど受診勧奨に工夫をこらしています。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀨町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドックの健診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。2年度の間評価を基に、健康寿命の延伸に向け効果的な保健事業に取り組んでいます。

○後期高齢者健康診査の実施

後期高齢者医療では、筋力や心身の機能低下予防対策として、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○糖尿病性腎症重症化予防事業。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨、また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康増進事業の推進

健康づくりへの習慣と関心を高めるため、住民の興味をひくような内容の事業を行い健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする事業を進めています。

■親子に対する支援対策

○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の取組

妊婦を対象にアンケートを行うなど、意向調査を行い、その結果を基に子育て家庭に寄り添ったきめのこまかい相談に対応している。

○児童虐待や自殺予防に対する取組

小中学校に対して、自殺予防に関する普及啓発事業を実施。気になる方に個別相談を実施。

05 看護協会

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

看護・介護人材の確保対策の推進

1. 各施設で中学生社会チャレンジ事業を引き受けた。
2. 各病院で「ふれあい看護体験」を実施し看護師という職業をアピールした。
3. 秩父市立病院では
看護学科のある大学・看護学校・ハローワークを訪問。秩父市立病院のパンフレットを配布した。
4. 小鹿野中央病院では
毎年健康まつりを開催しているが、そのなかで白衣体験を取り入れた。
5. 秩父看護専門学校では
 - ① 年1回だった就職説明会の他に病院説明会と題し、地域内6病院から代表者が集まり自施設を紹介する試みを始めた。
そこでは秩父に残ることの良さをアピールした。
 - ② オープンスクールを3回開催した。
6. 秩父地域看護師会では
2ヶ月に1回集まり、情報交換や勉強会を開いている。勉強会では、介護士など他職種も長く働けるようといろいろな内容で開催している。
(排泄・認知症・緩和・糖尿病・・・等)。
7. 埼玉県看護協会では
 - ① ナースセンター
 - ・看護師・准看護師・保健師・助産師で仕事に就いてない人は、届出をするということが努力義務となっている。
 - ・看護職のための無料職業紹介事業（秩父ハローワークとも連携し巡回就職相談を受けている）。
 - ・復職支援研修を開催している。（29年度は秩父市立病院で2名が研修を受けそのうちの1人は就職している）。
 - ② 第1支部
県民への看護サービス事業として5月に看護の日のイベントを開催。そこで小さな子供さん相手に白衣体験を実施し看護師をアピールした。
 - ③ 介護セミナーを開催している（県内215施設に案内を出した）。
 - ④ 「看護への道」と題して進路相談会を開催している。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 管内看護協会の代表

記入者名・連絡先 秩父市立病院 看護部長 飯島 玲子

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

埼玉県看護協会秩父地区の代表として、今年度も奇数月の第3木曜日に、地域の病院及び看護ステーション・看護専門学校の教師と情報の共有や学習会を行いました。学習会の内容は、7月は「訪問診療、家庭医療について」秩父市立病院の臨床研修管理室室長の加藤医師の講義を受けました。11月は当院の薬剤師による「転倒転落と薬の関係性について」の講義を受けました。それぞれの講義が、業務に密接した内容で地域の看護師・介護士にとって勉強になるものでした。

在宅医療の推進として、可能な限り住み慣れた地域で人生の最後まで、在宅で過ごせるように療養生活の質を保たせるために看護訪問や看護相談を行いました。看護訪問では、身の回りの援助や介助、内服薬の管理・説明。外来化学療法を行った患者の家庭を訪問して、家での生活の援助や指導、話し相手や相談に応じました。看護相談では、保険センター祭り・出会いの広場・アリオ深谷店のフロアを一日借り、地域住民の方向けに、血圧測定・体脂肪測定・糖尿病予防指導や食事指導などを行いました。また、患者および施設の利用者達が気持ちよく生活できるようにおむつの指導や排泄に関する相談、指導を行いました。

看護師の人材確保としては、病院ごとに看護体験として地元の中学生・高校生とその親御さんを対象に看護体験学習として、1日看護師さんになっていただき看護師の指導を受けながら、入院患者の車いす散歩に付き添ったり、足浴の見学などをして、見て触れて体験し看護の魅力を感じていただき、ぜひ地元で看護師を目指してもらえそうなイベントをおこないました。白衣を着ていただき、キャッピングも実際の戴帽式のように行いました。

また、再就職技術講習を行い潜在看護師の再就職の手助けを行いました。

毎年行っていることではありますが、『継続は力なり』 歴代の看護師会を支えていただいた多くの看護師の思いが少しずつ、形になってきた感じがしました。

今後も秩父地域の住民の方に寄り合いながら、地域のためにお手伝いができるように、看護師会を中心に地元の看護師の協力をいただきながら、活動を続けていきたいと思っております。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 管内看護協会の代表

記入者名・連絡先 秩父市市立病院 看護部長 飯島玲子

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

今年も、埼玉県看護協会秩父地区の代表として、奇数月に看護師会を開催し、秩父地区の病院や訪問看護ステーション、そして看護専門学校の教員を交えて、情報の共有や学習会を行う予定でしたが、コロナ禍で集まりを持つこともできず、学習会も行うことが出来ませんでした。電話やメールで近況を報告し合い、コロナに対しての情報共有を行い励まし合いながら、病院や施設、学校と支え合ってきました。各病院や施設等の長は、自部署の現場で勤務してくれているスタッフの労をねぎらうことで、精一杯の一年だったと思います。

当院でも、昨年の4月からエントランスでの体温測定が始まりました。面会を禁止にして月曜日と木曜日の15:00から16:00の1時間のみ、患者の生活用品の交換に訪れて下さるご家族に、入院中の患者の写真や手紙を看護師の手作りの台紙に貼って渡したり、看護師から入院中の状態を聞いていただくことにより、患者とご家族の絆を断ち切らないように工夫をしました。最近になっては、ビデオ電話を始めました。とても好評でした。予測のつかなかった出来事ばかりで手探り状態の毎日でした。

新型コロナに罹患し入院を余儀なくされた患者に対しては、隔離の状態で病室からも出られないため、少しでも気持ちが安らげるように軽症な患者には、TVや音楽観賞もちろんのこと雑誌を提供したり、代わりに買い物に行って食べ物を提供したり（制限のない患者には…）と現場のスタッフが様々な意見を提案してくれて、できることは何でも試みよう。やってみよう。の気持ちで全力で看護をしたこと、そして一致団結ができたことが、とても遣り甲斐になりました。

今年度は、外に出で研修したり、学習会を開いたり、外部の方との交流を深めることはできませんでしたが、院内で協働できたことが何よりも、看護の質を高められたと思います。この経験から気づけたことは、スタッフがこの病院で働き続けていきたいと思っていただいたことでした。自分たちで何とかできるという自信が持てたことでした。

来年度は、どんな事が待ち受けているのでしょうか。
今回の経験から学んだことを、次の世代に『看護って素晴らしい』ということを伝え、人材育成のために展開していきたいと思いました。

そして秩父地域看護師会が再開できることを願っております。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 看護協会

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【看護・介護人材の確保促進の推進】

* 埼玉県看護協会では

1. ナースセンター

- ・ 看護師 准看護師 保健師 助産師で仕事に就いていない人の届出業務
- ・ ハローワーク巡回就業相談
秩父を含む県内8箇所のハローワークで、看護職の資格を持つ相談員が個別の相談を実施
- ・ 再就業技術講習会
潜在看護職に対して、最近の看護や知識、技術を体験し再就業のステップとなるように講習会を実施
- ・ 進路相談
将来看護師の道に進みたい学生、社会人を対象として実施

2. 埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」から埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

秩父市内小学校の1校 6年生27名に対して

「いのちの大切さ」「看護師の仕事」等に対して講演会を実施

看護師の仕事紹介、看護師への道の説明

聴診器やパルスオキシメーターを使って、「いのち」を実感してもらう

* 秩父地域看護師会では

- ・ 定期的に会議を開催し、情報交換を実施（今年度はコロナ対応が主な議題となった）
その他、スムーズな転院調整ができるよう情報共有を適宜実施
- ・ 秩父看護専門学校とは、コロナ感染症が蔓延していても、できるだけ病院実習を受け入れていけるために相談や調整を行っていた

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

看護協会

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【看護・介護人材の確保促進の推進】

* 埼玉県看護協会では

- ・ 看護師、准看護師、保健師、助産師で仕事に就いていない人の届出制度
- ・ 進路相談

将来看護師の道に進みたい学生、社会人を対象として実施

- ・ ふれあい看護体験

高校生を対象に病院見学や看護実習、胸骨圧迫やAED体験を実施

- ・ 再就業技術講習会

潜在看護師に対して、最近の看護や知識、技術を体験し再就業のステップとなるように、講習会を実施

* 埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」から、埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

看護師の仕事紹介、看護師への道の説明

聴診器やパルスオキシメーターを使って、「いのち」を実感してもらう

* 秩父地域看護師会では

- ・ 定期的に会議を開催し、情報交換を実施

その他、スムーズな転院調整ができるよう情報共有を適宜行う

- ・ 秩父看護専門学校とは、病院実習を受け入れていけるための相談や調整を行う

※数項目を選定し、1頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市役所（秩父市立病院）

記入者名・連絡先 関田 嘉子・094-23-0611

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【看護・介護人材の確保促進の推進】

*埼玉県看護協会では

- ・看護師、准看護師、保健師、助産師で仕事に就いていない人の届出制度
- ・進路相談
将来看護師の道に進みたい学生、社会人を対象として実施
- ・ふれあい看護体験
高校生対象に病院見学や看護実習、胸骨圧迫やAED体験を実施
- ・再就業技術講習会
潜在看護職に対して、最近の看護や知識、技術を体験し再就業のステップとなるように講演会を実施

*埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」から、埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

- ・市内小学校の1校にて、6年生31名が参加
- ・「いのちの大切さ」「看護師の仕事」等に対して講演会を実施
(看護師の仕事紹介、看護師への道の説明のほか、聴診器やパス留オキシメーターを使って「いのち」を実感してもらう)

*秩父地域看護師会では

- ・定期的に会議を開催し、情報交換を実施
その他、スムーズな転院調整ができるよう情報共有を適宜行う
- ・秩父看護専門学校とは、病院実習を受け入れていけるための相談や調整を行う。
- ・看護師介護士対象に研修会開催

*その他

- ・高校生対象に半日看護体験を実施し、病院見学や看護実習、ICLS見学を実施

以上

06 秩 父 市

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援 二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に財政支援し、診療所医師による初期救急診療支援や病院勤務医の負担軽減、医療スタッフの増員につなげることができた。また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設について、秩父郡市薬剤師会に財政支援、病院スタッフの負担軽減、患者の利便性向上が図れた。

秩父圏域の救急医療体制については、秩父病院から土日の輪番を辞退したい旨の申し出があったことにより、その在り方が問われている。地域の救急医療体制については、埼玉県保健医療整備計画及び県医療構想にある施策でもあるため、埼玉県にも積極的に対応いただき、市町に対し、適切な指導支援をお願いしたい。

②産科医療確保のため、埼玉県秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用し、定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師2名の派遣を受けた。

【在宅医療の推進】

「医療・介護の人材育成」を重要なテーマとし、学生向けパンフレット「医療・介護の現場で働く人たち」を作成、圏域内小中高校の全児童生徒に配布。「ちちぶいきあいフォーラム」では、人材育成をテーマとして開催。城西大学伊関友伸教授の講演及び劇団いきあいによる寸劇（人材育成編）を上演。また、この劇のDVDを作成し、パンフレットとともに人材育成についての教材として圏域内中学校に配布した。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【自殺防止対策の推進】

「秩父地域自殺予防対策連絡会」で、自殺予防フォーラムの開催や研修会を開催したほか、自殺予防を総合的かつ効果的に推進するための「秩父市自殺対策計画」の策定を進めている。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

記入者名・連絡先 新井（地域医療対策課 22-2279）

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医の負担軽減、医療スタッフの増員を図ることができた。また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設について、秩父郡市薬剤師会に財政支援を行い、病院スタッフの負担軽減、患者の利便性の向上を図ることができた。

秩父圏域の救急医療体制については、秩父病院から土曜日の夜間及び日曜日の輪番を辞退したい旨の申し出があったことにより、関係機関等との協議・調整を図っている。地域の救急医療体制については、埼玉県地域保健医療計画及び埼玉県地域医療構想にある施策でもあるため、埼玉県にも積極的に対応いただき、市・町に対し、適切な指導・支援をお願いしたい。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【在宅医療の推進】

秩父版地域包括ケアシステム（ちちぶいきあいシステム）の推進において、喫緊の課題である訪問介護員不足への対策として、パンフレット「介護職員キャリアアップの仕組み」を作成・配布した。

また、在宅ケアを担う訪問介護員への研修を主体としながら、「在宅緩和ケア」について周知することを目的に、研修会および「劇団いきあい」による公演により「在宅緩和ケア地域医療構築事業」を実施した。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の重要性や正しい知識・情報を特定健診会場で伝えて、個々に勧奨を行うほか、協会健保組合の保険者と連携した特定健診とがん検診の同日開催を行い、受診率向上に努めた。

また、高血圧予防教室を開催し、医師会、市立病院と連携した糖尿病性腎症の重症化予防事業に取組み、重症化防止対策の推進に努めた。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

記入者名・連絡先 新井（地域医療対策課 22-2279）

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医の負担軽減、医療スタッフの増員を図ることができた。また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設について、秩父郡市薬剤師会に財政支援を行い、病院スタッフの負担軽減、患者の利便性の向上を図ることができた。

地域の救急医療体制については、埼玉県地域保健医療計画及び埼玉県地域医療構想にある施策でもあるため、埼玉県にも積極的に対応いただき、市・町に対し、適切な指導・支援をお願いしたい。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【秩父版地域包括ケアシステム（ちちぶいきあいシステム）の推進】

地域包括ケアシステムを推進していく上で重要となる在宅医療、在宅緩和ケアの周知にコミュニティラジオを利用し「在宅緩和ケア地域医療構築事業」、「ACP普及事業」に関わるテーマで番組「人生いきいきいきあうラジオ」を毎週1回放送、住民への周知を図った。さらに同テーマで一步深めた内容での専門職向けオンライン研修を実施した。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の重要性や正しい知識・情報を市報や特定健診会場で伝え、個々に勧奨を行うほか、協会けんぽ組合の保険者と連携し、がん検診同日実施の日を設定し、受診率向上に努めた。

また、医師会、市立病院と連携した「糖尿病腎症重症化予防事業」に取り組み、保健師・管理栄養士による生活訪問指導を実施することで、人工透析への移行防止に努めた。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

記入者名・連絡先 新井（地域医療対策課 22-2279）

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上を図ることができた。

病院や地域の診療所などで活躍できる総合診療専門医を養成するために立ち上げた、総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」への応募者2名（プログラム制1名、カリキュラム制1名）の採用を決定し令和4年4月から研修を開始する予定。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【ちちぶ版地域包括ケアシステム（ちちぶいきあいシステム）の推進】

「地域包括ケア」の住民周知について、コミュニティラジオ番組「人生いきいきいきあうラジオ」を毎週1回放送、「人生会議」についての研修会を地域を回り年間8回開催した。また、人生の最終段階における医療ケアを担う人材育成及び連携体制構築に関しての研修会を年間6回開催し、地域の専門職の資質向上を図った。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の受診率向上のため、新型コロナウイルス感染を心配した受診控えのリスクについて周知する他、勧奨通知の送付、協会けんぽ組合の特定健診と同日実施などを行った。

また、医師会、市立病院と連携した「糖尿病腎症重症化予防事業」に取り組み、保健師・管理栄養士による生活訪問指導を実施することで、人工透析への移行防止に努めた。

【MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進】

世界的なパンデミックにより、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種が、予防接種法の臨時接種に位置付けられた。それを受け、秩父地域の1市4町で連携し、新型コロナウイルスワクチンの接種体制を構築した。

接種率の向上を図るため、予約システム等を一体運営し、住所地外接種の申請を不要とした地域内の医療機関での接種を可能とし、初回接種は87%を超えた接種率となっている(令和4年1月末時点)。

引き続き、追加接種および小児の接種体制の整備を図り、ワクチン接種の推進に努めている。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上を図ることができた。

病院や地域の診療所などで活躍できる総合診療専門医を養成するために立ち上げた、総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」において、2名の専攻医（プログラム制1名、カリキュラム制1名）が令和4年4月から研修を開始。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の受診率向上のため、勧奨通知の送付、国保特定健診や協会けんぽ組合の特定健診と同日実施などを行った。

また、医師会、1市4町や市立病院等と連携した「糖尿病性腎症重症化予防事業」に取り組み、保健師・管理栄養士による生活訪問指導を実施することで、人工透析への移行防止に努めた。

【重大感染症対策の推進】

新型コロナウイルスワクチン接種は住民票所在市町村での接種が原則だが、秩父地域1市4町では秩父郡市医師会の協力のもと、秩父地域の住民であれば地域内のどこの医療機関等でも接種可能な、利便性の高い接種体制を構築している。

○秩父地域の接種率（令和5年2月1日時点）

初回接種（12歳以上） 81.8%（全国:80.6%）

オミクロン株対応ワクチン接種 42.2%（全国:42.0%）

【自殺防止対策】

自殺防止対策は、定住自立圏事業として位置づけ、関係機関と協力しながら取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の流行により、秩父地域自殺予防フォーラムとゲートキーパー養成講習をYouTubeによるオンライン配信を実施した。フォーラムでは、睡眠をテーマに地域全体で自殺の問題を考え、ゲートキーパー養成講習では、悩みを抱えた人を支えるゲートキーパーの重要性を伝えている。また、自殺予防の啓発グッズの配布と秩父郡市外からの自殺を防ぐため、橋やダムに自殺予防標語入り看板を設置している。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

※数項目を選定し、1頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

記入者名・連絡先 地域医療対策課 柿原 22-2279

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び初期救急従事病院（小鹿野中央病院）に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上などを図ることができた。

病院や地域の診療所などで活躍できる総合診療専門医を養成するために立ち上げた、総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」において、1名の専攻医（プログラム制）の研修サポートを行った。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化】

伴走型相談支援の充実を図るために妊娠8か月時のアンケートを開始し、希望される妊婦及び支援が必要とされる妊婦には面談や訪問を行った。

産後ケア事業を産後の体調や育児に不安がある方は利用できるように、対象者の見直しを行った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

令和5年度に策定中の「秩父市健康づくり計画 健康ちちぶ21（第3次）（令和6年度～令和17年度）」では、この推進について第2次からの引き続きの取組みとして位置づけている。

がん検診の受診率向上のため、勧奨通知の送付、国保特定健診や協会けんぽ組合の特定健診と同日実施などを実施した。また、医師会、1市4町や市立病院等と連携した「糖尿病性腎症重症化予防事業」に継続して取り組んだ。令和5年度は事業の評価・書式の見直しを行い、保健師・管理栄養士による訪問指導を実施し、人工透析への移行防止に努めた。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

07 横 瀬 町

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

○生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

・インセンティブを提供する「わくわくポイント事業」に取り組みながら、健診等を実施した。

特定健診とがん検診の同時申込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。また、防災無線を利用し周知するとともに、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

主な検診受診率	特定健診	H28年度 38.7%→H29年度 37.8%→H30年度 45% (見込み)
	大腸がん検診	H28年度 6.5%→ H29年度 8.8%→H30年度 11% (実施中)
	胃がん検診	H28年度 3.6%→ H29年度 4.7%→H30年度 5.8% (実施中)

・事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した者にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。(送付件数 40件)

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始(平成29年度)から2年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。継続参加を呼びかけるため、ウォーキング講座を実施した。 ・対象者：18歳以上の町民。 ・申込者数(平成30年12月末現在)：347人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。(対象者 55人)

(4) 歯周病検診の強化

健康まつり会場で歯科検診を実施するほか、今年度新たに、個別歯周病検診を開始し、検診料の助成を行った。(対象者：40歳以上の町民)

○精神保健と自殺防止対策の取組

(1) 自殺予防講演会の開催

心の健康づくり及び自殺予防対策として講演会を実施した。9月(参加者57人)及び3月に開催予定。

(2) 啓発事業の実施

心の悩みに関する相談先の周知及びゲートキーパーに関する啓発を目的にリーフレットを全戸配布した。

○子育て支援事業の取組

(1) マイ・エンゼル支援事業の実施

町内に在住し不妊・不育治療を行っている夫婦に対して、不妊・不育治療に要する医療費の一部(上限10万円まで生涯3回)を助成した。

また、不妊検査又は不育症検査に係る費用のうち助成対象者の自己負担額(上限額2万円生涯1回)を助成する事業を新規に開始した。

(2) (訪問型・デイサービス型) うつケア相談事業の実施

退院直後の母子及び子育ての悩みを抱えている者に対して、心身のケア及び育児のサポート等を行い、家庭又は地域での孤立感の解消を図るとともに、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として助産師・保健師・心理職等の専門家による相談事業を実施した。

(3) 小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々などの不安感を軽減し、妊娠期(産前・産後)から子育て期(0歳～15歳のお子さんがあるご家庭)にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横瀬町
記入者名・連絡先 健康づくり課 小泉 博 0494-25-0116

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。
特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。

また、防災無線を利用し周知するとともに、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な検診 特定健診 平成29年度：37.8%→平成30年度：44.9%→令和元年度 45.6%（見込み）
受診率 大腸がん検診 平成29年度：8.8%→平成30年度：11.7%→令和元年度 11.5%（実施中）
胃がん検診 平成29年度：4.8%→平成30年度：5.2%→令和元年度 4.9%（実施中）

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。（送付件数 55 件）

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始(平成29年度)から3年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、ウォーキング講座を実施し、また、健(検)診時や広報紙で啓発を行った。

申込者数（令和2年1月末現在）：398人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。（対象者 64 人）

(4) 歯周病検診の強化

平成30年度から個別歯周病検診(対象者：40歳以上の町民)を開始し、検診料の助成を行ったほか、健康まつり会場で歯科検診を実施した。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

(1) 精神保健事業の実施

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。（全6回：隔月）なお、中高年期の女性に多い心の不調とその対処法等を学ぶ「女性のこころとからだ・いきいきセミナー」を実施した。（3月）

(2) ゲートキーパー養成講座の開催

自殺を考えている人に対する適切な対応方法を学び、自殺のリスクの高い人を気づいて適切に対応できる人材を育成する講座を実施した。（全2回：1月・2月）

◎子育て支援事業の取組

(1) 子育て世代包括支援センターの充実

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として平成28年10月から保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施してきた。令和元年度からは、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として、助産師・保健師・児童館職員等の多職種による相談事業（赤ちゃんくらす、あそびのひろば「こぐまの森」など）を新たに展開した。また、乳幼児健康診査（1歳6か月児、3歳児、5歳児）時に臨床心理士による相談を拡充させ、気軽に相談できる機会を設けることで相談支援の充実を図ることができた。

さらに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業を新規に開始した。

(2) 小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期（産前・産後）から子育て期（0歳～15歳のお子さんがあるご家庭）にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施した。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横 瀬 町
記入者名・連絡先 健康づくり課 小泉 博 0494-25-0116

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。
特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。

また、防災無線を利用し周知するとともに、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な検診 特定健診 平成30年度 44.9%→ 令和元年度 45.2%→ 令和2年度 36.0%（見込み）
受診率 大腸がん検診 平成30年度 11.7%→ 令和元年度 11.7%→ 令和2年度 11.4%（見込み）
胃がん検診 平成30年度 5.2%→ 令和元年度 5.0%→ 令和2年度 4.6%（実施中）

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。（送付件数 48 件）

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始から4年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、ウォーキング講座を実施し、また、健(検)診時や広報紙で啓発を行った。

申込者数（令和3年1月末現在）：433人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。（対象者 56 人）

(4) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。（全6回：隔月）

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「こころいきいきセミナー」を「女性編」「男性編」の2回開催（11月）

その他、がん検診受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や広報等を通じて啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

(1) 母子保健事業の充実

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施した。今年度はコロナ禍において、感染予防対策をとりながら実施となったため、乳幼児健康相談は、赤ちゃんなんでも相談室とちびっこなんでも相談室に分けて実施した。乳幼児健診は実施回数を増やし参加人数を制限しながらの実施となった。そのほか、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として、助産師・保健師等の多職種による相談事業（赤ちゃんくらす）を実施した。今年度より子育てアプリ「よこハグ」を導入し、妊娠期の記録や出産、育児の記録、予防接種スケジュールの管理などをアプリでできるようになり、育児の負担軽減に役立っている。新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業等、経済的支援も引き続き行った。

(2) 小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期（産前・産後）から子育て期（0歳～15歳のお子さんがいるご家庭）にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施

した。また、いつでも相談としてウェブサイトから質問を送ると 24 時間以内に回答がくる事業を拡大した。コロナ禍において、気軽に専門家に相談できる施策として充実を図った。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横瀬町
記入者名・連絡先 健康づくり課 小泉 博 0494-25-0116

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「横瀬町わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。

また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な検診 特定健診 令和元年度 45.2%→ 令和2年度 38.9%→ 令和3年度 39.0%（見込み）
受診率 大腸がん検診 令和元年度 11.7%→ 令和2年度 11.5%→ 令和3年度 12.6%（見込み）
胃がん検診 令和元年度 5.0%→ 令和2年度 4.2%→ 令和3年度 4.8%（見込み）

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。（送付件数 50 件）

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始から5年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、ウォーキング教室（上級・初中級）を実施し、また、健(検)診時や広報紙で啓発を行った。

申込者数（令和4年1月末現在）：471人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。（対象者 61人）

(4) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。（全6回：隔月）

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「こころいきいきセミナー」を1月31日、2月10日の2回開催
その他、がん検診受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や広報等を通じて啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

(1) 母子保健事業の充実

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施した。今年度もコロナ禍において、感染予防対策をとりながらの実施となったため、乳幼児健康相談は、赤ちゃんなんでも相談室とちびっこなんでも相談室に分けて実施した。乳幼児健診も、昨年度同様実施回数を増やし参加人数を制限しながら実施した。そのほか、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として、助産師・保健師等の多職種による相談事業（赤ちゃんくらす）を実施した。また、子育てアプリ「よこハグ」を活用し、妊娠期の記録や出産、育児の記録、予防接種スケジュールの管理などがアプリででき、育児の負担軽減に役立っている。新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業等、経済的支援も継続して実施した。

(2) 小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期（産前・産後）から子育て期（0歳～15歳のお子さんがいるご家庭）にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施した。また、いつでも相談としてウェブサイトから質問を送ると24時間以内に回答がくる事業を実施し、

コロナ禍において、気軽に専門家に相談できる施策として充実を図った。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横 瀬 町

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取組み

○インセンティブを提供する「横瀬町わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。

また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

- 主な健(検)診 特定健診 令和2年度 38.9%→ 令和3年度 45.2%→ 令和4年度 40.0%(見込み)
受診率 大腸がん検診 令和2年度 11.5%→ 令和3年度 12.6%→ 令和4年度 12.2%(見込み)
胃がん検診 令和2年度 4.2%→ 令和3年度 4.8%→ 令和4年度 5.0%(見込み)

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。(送付件数 44 件)

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始から6年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、年間を通してウォーキング教室を実施し、また、健(検)診時のリーフレットの配布等で啓発を行った。

申込者数(令和5年1月末現在): 509人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。(対象者 70人)

(4) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。(全6回:隔月)

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「こころいきいきセミナー」を2月1日、3月28日に2回開催、その他、がん検診受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や広報等で啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

(1) 母子保健事業の充実

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施した。今年度もコロナ禍において、感染予防対策をとりながら実施した。乳幼児健診では、3歳児健診と5歳児健診にスポットビジョンスクリーナーを使用した視覚検査を導入した。既存のアンケートや家庭での視力検査と併せて、弱視の早期発見に努めている。また、1市4町同一の内容で産後ケア事業を開始した。出産や育児で疲れたママの体と心のケア、また赤ちゃんのケアのサポートなどを行っている。昨年度に引き続き、子育てアプリ「よこハグ」を活用し、妊娠期の記録や出産、育児の記録、予防接種スケジュールの管理などがアプリででき、育児の負担軽減に役立っている。さらに、新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業等、経済的支援も継続して実施した。

(2) 町民への相談事業の強化

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期(産前・産後)から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、健康子育て課に子ども家庭総合支援拠点を設置し相談業務の強化を図った。窓口の相談だけでなく、小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」は、スマホ等から夜間に無料で相談できる事業のほか、いつでも相談としてウェブサイトから質問を送ると24時間以内に回答がくる事業を実施し、年末年始などの長期休暇やコロナ禍において、気軽に専門家に相談できる事業として充実を図った。また、今年度は、町民課に「なんでも相談室」を設置し、どこに相談したらよいかかわからない、一人で悩みを抱えて困っているなど、誰でもどんなことでも相談できる相談室を設置し、町民の困りごとに対応している。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横 瀬 町

記入者名・連絡先 健康子育て課 0494-25-0110

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「横瀬町わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な健(検)診受診率

特定健診	R3年度	45.2%	→R4年度	44.3%	→R5年度	40.0%(見込み)
大腸がん検診	R3年度	12.6%	→R4年度	12.5%	→R5年度	13.7%(見込み)
胃がん検診	R3年度	4.8%	→R4年度	8.7%	→R5年度	11.7%(見込み)

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業及びコバトンALK00マイレージ事業への参加・実施

平成29年度よりコバトン健康マイレージ事業に継続して参加し、令和6年1月末現在で523名の方の申込みがある。

また、令和6年1月16日より新たに開始したコバトンALK00マイレージ事業にも参加し、より多くの町民に参加いただけるよう、ウォーキング教室や健(検)診時での周知及び操作講習会を行い、令和6年2月7日現在で93名の方に参加していただいております。参加者のウォーキング継続の励みになっている。

(3) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。令和5年度申込者数：4名

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。(全6回：隔月)

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「ゲートキーパー養成講座」を職員及び、民生委員を対象に全2回(1月10日、1月17日)実施し、町職員27名、民生委員・児童委員23名に参加いただいた。

その他、骨密度測定受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や、広報等で啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

子育て世代包括支援事業及び母子保健事業の充実

令和5年度より新たに発達検査及び、作業療法士による個別の療育相談を開始するとともにオンライン相談支援体制を構築し、子育て家族への相談支援体制の強化を図った。乳幼児健診では、3歳児健診と5歳児健診にスポットビジョンスクリーナーを使用した視覚検査を継続し、既存のアンケートや家庭での視力検査と併せて、弱視の早期発見に努めている。弱視等の早期発見、早期治療につながっている。また、1市4町同一の内容で開始した産後ケア事業では、対象者を拡大し、出産や育児で疲れた母親の体と心のケア、また赤ちゃんのケアのサポートなどの更なる充実に努めている。

※数項目を選定し、1頁に収まるように簡潔に御記入ください。

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【生活習慣病対策の推進】

(1) 転倒予防・サルコペニア(筋肉減少症)予防事業

住民健診(特定健診・高齢者健診)の検査項目に「開眼片足立ち検査」を導入。40歳以上の健診受診者の中から転倒ハイリスク者、サルコペニア予備群を層別抽出し、筋力低下・低栄養状態に応じた保健指導を実施する。必要に応じて既存の介護予防事業、医療・介護サービス等につなぐものである。

《健診結果説明会の流れ》

1. 転倒ハイリスク者を抽出するため、開眼片足立ち時間により「時間 \geq 20秒」「6秒 \leq 時間 $<$ 20秒」「時間 \leq 5秒」の3群に分ける。
2. 「開眼片足立ち時間 \geq 20秒」の場合は、一般的な有酸素運動等を紹介。
3. 「開眼片足立ち時間 $<$ 20秒、特に片足立ち時間 \leq 5秒で、歩行速度がゆっくり(3m往復歩行時間TUG \geq 13.5秒)は、介護保険の通所リハビリの利用を検討。
4. 「開眼片足立ち時間に \leq 5秒で、TUG $<$ 13.5秒、及び開眼片足立ち時間6秒 \leq 時間 $<$ 20秒の方は、イスの立ち上がり検査(下肢筋力評価)を実施し、10回の立ち座り時間 \geq 16秒は、下肢筋力が衰えていると判断し、理学療法士(PT)が下肢筋力向上プログラムを指導。
5. 下肢筋力に問題のない場合は、足指把持力検査(ビー玉検査)を実施し、15秒間のビー玉移動個数 $<$ 5個の場合は、足指把持力向上プログラムをPTが指導。
6. 下肢筋力・足指把持力に問題ない場合は、体幹筋力向上プログラムをPTが指導。
7. 片足立ち時間 $<$ 20秒全員に管理栄養士が栄養指導(適量のたんぱく摂取指導)を実施。

《事業効果》

- 健診に導入することで、フレイルのおそれのある方を幅広く支援できた。また、開眼片足立ち検査は受診者の負担が少なく、定量化も可能なため、フレイル状態の見える化につながった。
- 健診結果を踏まえた指導のため、生活習慣病予防とフレイル・要介護予防を一体的に実施でき、保健事業と介護予防事業の切れ目のない支援ができた。

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業～インセンティブ事業

楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的に事業を実施。歩いた歩数によりポイントが貯まるしくみ。効果として、若い世代(健康無関心層)へのアプローチができた。

《H29.12月末現在参加者数 217名》

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

皆野町

記入者名・連絡先

梅津 順子 62-1233

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【生活習慣病対策の推進】

1. フレイル・サルコペニア重症化予防の取り組み

- ① 住民健診受診者の中から開眼片足立ち時間で転倒ハイリスク者を層別抽出し、身体能力・健診データに基づき、保健師が生活指導、理学療法士が運動指導、管理栄養士が栄養指導を実施。
- ② “減塩・たんぱく質をしっかりと摂ろう”の普及啓発を目的に、各地区公会堂で手軽にできる健康料理（減塩・高タンパク）の試食を配り、健康教育を実施。
（いきいきサポーター・食生活改善会・シルバー人材センターと協働実施）
- ③ 歯周疾患検診費用の全額助成（対象：40歳・50歳・60歳及び70歳の者）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期からの切れ目のない支援の取り組み

- ① 母子健康手帳発行時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、毎月1回健康づくり担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が家庭訪問を実施。
- ② 育児ギフト（ハッピーギフト）希望者に、妊娠32週以降に保健師がギフトを持参し家庭訪問を実施。
- ③ 全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

【精神医療と自殺予防対策】

1. 自殺予防の取り組み

- ① 自殺予防ゲートキーパー研修会の開催
「青・壮年期の自殺・うつ予防」をテーマに研修会を2回開催 参加者数延べ80人
- ② 住民健診の間診項目にメンタルに関する質問項目を追加し、結果説明会で保健師が個別相談や家庭訪問を実施

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

記入者名・連絡先 設楽久美子 62-1233

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始した。

令和3年1月末現在、延べ利用人数506人。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業「みなのおんげパッケージ」として平均歩数5,000歩以上の方の中から抽選で地域商品券を贈呈。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院・秩父市立病院）と連携した保健指導を実施。

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期からの切れ目のない支援の取り組み

①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、毎月1回健康づくり担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が相談支援を実施。

②全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

6 【精神医療と自殺予防対策】

1. 自殺予防の取り組み

①自殺予防ゲートキーパー研修会の開催

「コロナ禍のうつ予防」をテーマに研修会を開催 参加者数21人。

②住民健診の間診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師が個別相談や家庭訪問を実施。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

記入者名・連絡先 設楽久美子 62-1288

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期からの切れ目のない支援の取り組み

- ①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、毎月1回健康づくり担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が相談支援を実施。
- ②全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始。
令和4年1月末現在、延べ利用人数759人。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院・秩父市立病院）と連携した保健指導を実施。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. 自殺予防の取り組み

- ①自殺予防ゲートキーパー研修会の開催
「見過ごさないで大切な人の悩み」をテーマに研修会を開催。参加者数42人。
- ②児童生徒のSOSの出し方に関する教育
「SOSの出し方に関する教育」の普及啓発のため、町内の小学校に通う5・6年生、中学校全生徒及び教職員に対してリーフレットを配布。
- ③住民健診の問診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師が個別相談や家庭訪問を実施。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

記入者名・連絡先 設楽久美子 62-1288

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の取り組み

- ①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が相談支援を実施。
- ②全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始。
令和5年1月末現在、延べ利用人数802人。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院・秩父市立病院）と連携した保健指導を実施。

④減塩・高たんぱく食環境整備事業

町内の協力店に依頼し、減塩食品や高たんぱく食品の陳列棚等にPOPを掲示し、当該食品が目につきやすい食環境整備を行う。令和4年度から実施。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. 自殺予防の取り組み

- ①児童生徒のSOSの出し方に関する教育
「SOSの出し方に関する教育」について、町内の小学校に通う5・6年生、中学校全生徒及び教職員に対してリーフレットを配布し普及啓発。
- ②住民健診の問診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師が個別相談や家庭訪問を実施。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

記入者名・連絡先 設楽久美子 62-1288

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の取り組み

- ①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師・助産師が個別に相談対応する。また、担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師・助産師が相談支援を実施。
- ②全出生児を対象に地区担当保健師・助産師が家庭訪問を実施。

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始。

令和5年12月末現在、延べ利用人数857人。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院）と連携した保健指導を実施。

④減塩・高たんぱく食環境整備事業

町内の協力店に依頼し、減塩食品や高たんぱく食品の陳列棚等にPOPを掲示し、当該食品が目につきやすい食環境整備を行う。令和4年度から実施。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. 自殺予防の取り組み

①児童生徒のSOSの出し方に関する教育

「SOSの出し方に関する教育」について、町内の小学校に通う5・6年生、中学校全生徒及び教職員に対してリーフレットを配布し普及啓発。

②住民健診の間診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師等が個別相談や家庭訪問を実施。

09 長 瀬 町

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

「長瀬町多世代ふれ愛ベース長瀬」の設立

長瀬町では、多世代の交流・ふれあい及び生きがいづくり、健康づくりと介護予防のための事業を実施する施設として「長瀬町多世代ふれ愛ベース長瀬」建設し、平成30年4月1日より運用を開始した。健康増進や介護予防、子育て支援における中核的な役割を担う施設であり、子育て世代包括支援センターとして位置づけている。

施設及び実施事業等の概要は次のとおりである。

①施設の概要

住 所 長瀬町本野上136番地8ほか
延べ床面積 417.85 m²(木造平屋造)
集会室 165.62 m²、ホワイエ 1(キッズコーナー含む)86.17 m²
ホワイエ2 50.84 m²、事務室(兼案内所)25.86 m²、相談室 12.19 m²
駐車場 795 m²(23 台分)、駐輪場 13.38 m²

②職員の配置

保健師及び子育てコンシェルジュ(非常勤職員)、子育て支援員(非常勤職員)

③実施事業

- ・乳幼児検診(BCG 予防接種) ・がん検診(乳・子宮がん、胃・大腸胃がん)
- ・骨密度測定 ・脳トレ学校 ・元気はつらつサポーター会議 ・パートナークラブ
- ・おひさま教室、育児相談

④その他の利用状況

- ・元気モリモリ体操(清流の会)や町主催でない健康事業に無料で貸出
- ・「まちのクールオアシス協力施設」として熱中症予防に活用
- ・子供の遊び場、ママの情報交換の場として提供

⑤休所日

- ・毎週水曜日 ・毎月末日 ・12月28日から翌年の1月3日まで

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長瀨町

記入者名・連絡先 中畝 0494-66-3111 内線 131

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■生活習慣病対策の推進

(1) はつらつポイント事業

健康づくりや介護予防事業に楽しく取り組んでいただく「はつらつポイント事業」を平成30年度から実施しているが、今年度からは対象事業を教育委員会や社会福祉協議会の一部の事業とも連携し、その拡大を図ることにより、健診などの受診率向上を図った。

カード有効期間は発行日から1年で、30ポイント達成すると、500円分の長瀨町商工会商品券と交換できるものであり、令和2年1月末現在の達成者は92人となっている。

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業

楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的に令和元年7月から事業を開始した。

対象は18歳以上の町民で令和2年1月末現在の参加者は166人となっている。（歩数計150、スマホアプリ16）

(3) 健康増進計画・食育推進計画策定

健康寿命の延伸と町民一人ひとりの主体的な健康づくりと個人の取組を支援できる社会づくりを推進していくことを目的として、長瀨町健康増進計画・食育推進計画（計画期間 令和2年度～令和6年度）」を策定した。

■母子保健・子育て支援の推進

(1) 母子保健事業

不妊・不育支援として、不妊治療費、早期不妊検査費の各助成を実施をしているほか、今年度からは早期不妊治療費及び不育症検査費の各助成を開始している。

(2) 子育て支援体制の整備

地域共生社会の実現に向けて、次世代を担う子どもたちを育み、生涯にわたり町民が元気に活躍するための拠点として「長瀨町多世代ふれ愛ベース長瀨」を平成30年度に開設し、併せて、子育て世代包括支援センターを設置した。本施設で乳幼児健診などの母子保健事業と子育て支援事業や定住自立圏事業のほっと育むママサロンを実施することにより、子育て世代の拠点と認知されてきており、妊娠、出産子育てまでの切れ目ない支援を実施することができている。

なお、今年度は、隣接地に本野上地区公園を開設したことにより、一体的な利用が期待されている。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長瀬町

記入者名・連絡先 健康福祉課 中畝 69-1103

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

（1）子育て支援体制の整備

平成30年度に開設した「多世代ふれ愛ベース長瀬」に子育て世代包括支援センターを設置している。本施設で乳幼児健診などの母子保健事業や子育て支援事業、公認心理師による子育て相談事業などを実施することで、妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援を行うことができ、町民からも子育て支援拠点として認知されてきている。

（2）母子保健事業の充実

不妊・不育支援として、不妊治療費等の助成のほか、乳房ケアに係る費用の一部助成をはじめ、今年度から新たに新生児聴覚検査費用の一部助成を開始している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で安心安全な妊娠・出産に対する精神的な負担や産後の育児等への不安、感染予防など一時的に経済的負担が大きくなっている妊産婦を支援する妊産婦応援給付金を支給した。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

（1）はつらつポイント事業

健康づくりや介護予防事業に楽しく取り組んでいただく「はつらつポイント事業」を平成30年度から実施し、健診などの受診率向上を図っている。

（2）埼玉県コバトン健康マイレージ事業

楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的に令和元年7月から事業を開始した。対象は18歳以上の町民で令和3年2月10日現在の参加者は282人となっている。（歩数計250、スマホアプリ32）

（3）後期高齢者保健事業

令和2年度からは、健康寿命の延伸などを目的にフレイル予防を取り入れた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る事業を開始している。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長瀬町

記入者名・連絡先 健康福祉課 中畝 69-1103

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

（1）子育て支援体制の整備

「多世代ふれ愛ベース長瀬（平成30年度開設）」では母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業、ママサロン（定住自立圏事業）などを実施している。また、子育て世代包括支援センターを併設しており、町民からも子育て支援拠点として認知され、気軽に訪れることができる施設として親しまれている。

（2）母子保健事業の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で安心安全な妊娠・出産に対する精神的な負担や産後の育児等への不安、感染予防など一時的に経済的負担が大きくなっている妊産婦を支援する妊産婦応援給付金を昨年度に引き続き支給している。

また、コロナ禍での育児不安などオンラインで保健師等と相談ができる「オンラインすくすく相談」を開始している。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

（1）はつらつポイント事業

健康づくりや介護予防事業に楽しく取り組んでいただく「はつらつポイント事業」を平成30年度から実施し、健診などの受診率向上を図っている。

（2）後期高齢者保健事業

令和2年度から健康寿命の延伸などを目的にフレイル予防を取り入れた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る事業を開始している。

ポピュレーションアプローチでは通いの場への支援として、医療専門職派遣の充実を図っている。今年度は担当保健師が地域に出向き、町の健康課題に沿った健康教育を実施しているほか、個別介入が必要な場合は、地域包括支援センターと連携し対応している。

また、フレイルチェックを用いた健康状態の把握、体力測定、個別指導、筋骨格系疾患予防や管理栄養士や理学療法士による講話等を実施している。

なお、今年度はコロナ禍における高齢者への影響について、東京大学、文京学院大学等と連携し、アンケート調査を実施している。分析結果については、今後の事業に活かしていく。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長瀬町

記入者名・連絡先 健康福祉課 福島 ☎66-3111

令和4年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

(1) 子育て支援体制の整備

「多世代ふれ愛ベース長瀬」では、母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業、ママサロン（定住自立圏事業）などを実施している。また、子育て世代包括支援センターを併設しており、町民からも子育て支援拠点として、認知され、気軽に訪れることができる施設として親しまれている。

(2) 母子保健事業の充実

感染症対策を実施しながら乳幼児健診等を実施しているほか、コロナ禍で育児不安などオンラインで保健師等と相談できる「オンラインすくすく相談」を実施している。今年度から「産後ケア事業」を開始し、産後に十分にケアが受けられず、身体的心理的にも不安を抱えている産婦のケアを開始した。スポットビジョンスクリーナー（屈折検査機器）の購入により、乳幼児健診の視覚検査のスクリーニングに役立てることができた。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

(1) 生活習慣病の予防と重症化対策のハイリスクアプローチ

特定健診結果からリスクのある者を抽出し、民間企業によるオンライン栄養相談、体組成計を活用した健康相談を行った。オンラインで画面共有して視覚的・客観的に食事内容を把握することで具体的な食事改善を促した。終了後は血液検査の変化で評価も行った。

(2) 生活習慣病予防と重症化対策のポピュレーションアプローチ

①特定健診の受診率向上対策として、民間企業のAIの技術を活用し、過去の受診履歴等からわかる性格別に受診勧奨の圧着はがきを送付した。この取組は令和3年度も実施し、特定健診受診率が10%以上向上したため、今年度も受診率向上効果が期待できる。また、特定保健指導においても利用率向上のため、勧奨の圧着はがきを送付した。

②健康増進の一環として、今年度初めてインターバル速歩の歩き方講座を実施し、定員に近い40名の参加を得た。また、町名変更50周年記念事業としてはつらつ健康フェアを開催し、NHKラジオ体操の現役指導者である鈴木先生を招いてラジオ体操の実技の他、健康長寿サポーター養成講座、体組成計による測定会を実施した。100名以上の参加を得た。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長瀬町

記入者名・連絡先 健康こども課 福島 ☎66-3111

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

○母子保健事業から子育て支援事業の一体的実施

組織編成により「健康福祉課」から「健康こども課」となり、母子保健事業から子育て支援事業を一体的に実施している。子育て世代包括支援センター、子育て支援拠点としての「多世代ふれ愛ベース長瀬」で、母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業等を継続して実施し、今年度は特に町の子育て支援事業のPRに力を入れてきた。埼玉県が主催した「子育て応援フェスタ」にも参加し、長瀬町の子育て支援事業を県内にPRすることができた。妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援として、「伴走型相談支援」を開始し、子育て家庭に寄り添った支援を実施した。

○児童虐待予防対策

児童虐待防止対策を強化するため、子育て中の養育者、子育てを見守っている地域の人達、また地域で子ども達を支援している支援者、さらに将来親となる思春期の子ども達に視点を当て事業を展開した。性教育の第一歩として、保育園児に対し「大事なからだ」の講話や親学講座として、助産師による「性のおはなし～おうちでどうする？」をテーマに講座を実施した。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

○生活習慣病の予防と重症化対策のハイリスクアプローチ

特定健診結果からリスクのある者を抽出し、体組成計を活用した健康相談、民間企業によるオンライン栄養相談、今年度からは、地域の理学療法士の協力を得て、運動指導も入れた包括的な取組を実施した。

○町民とつくる健康増進プロジェクトの開始

第2期健康増進計画・食育計画・自殺予防計画の策定をするにあたり、今年度から町民の意見を施策に反映させる健康長寿プロジェクトを立ち上げた。埼玉県立大学等と連携してアンケート調査を行い、健康課題分析についても連携して行った。

○健康増進事業の充実

信州大学が開発した、科学的に立証されている「インターバル速歩」の歩き方講座や「ながとろ花めぐり講座」「サーキットチェアトレーニング講座」などを公民館事業と共催して実施し、前期高齢者の獲得と男性の参加者の増加を確認することができた。また、一般財団法人簡易保険加入者協会の「健康タウン構想の推進支援団体」として、今後5年間、ラジオ体操講座等の支援が受けられることとなった。今年度は、公民館との共催事業である「健康と文化のコラボラボ」事業として、ラジオ体操講座を実施した。

10 小 鹿 野 町

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

1 産科医療と小児・周産期医療の確保関連

(1) 子育て支援総合相談体制の強化

保健福祉センター内保健課において、小鹿野版ネウボラ事業を平成27年度から開始し、2年後に子育て世代包括支援センターを設置、子育て支援窓口や事業を拡充してきた。

今年度から本庁舎内住民課にその機能を移設し、子育て支援センターや保育機能等を含め、健診・予防接種を除いた児童支援を一本化し、包括支援体制を強化した。

2 生活習慣病対策と在宅医療の推進関連

(1) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業の実施

平成30年度よりウォーキングを通して町民が楽しみながら継続して健康づくりを取り組むことを目的とした事業を開始した。平成30年12月までに150人の町民が事業に参加している。(国保分84人、その他分66人)

(2) 生活習慣病重症化予防対策事業の実施

医療費適正化、生活習慣病予防を目指し、特定健診受診者の中でHbA1c6.5以上で医療機関未受診者及び重症化ハイリスク者に対して、平成30年12月までに受診勧奨、保健指導を36人に実施した。

(3) こじか筋力体操の普及

ボランティア養成及び地域の自主的運営による通いの場づくりを通じた運動機能向上・介護予防や地域力(自助・共助)の維持向上を目的とした事業の普及を図った。手足に重りを付けて行う6種類の簡単な体操をボランティアの協力と住民の自主的な運営により、週1回程度地域の集会所等で実施するとともに、特養、養護、通所介護事業所においても開催した。

体力測定にて効果検証を行い、その効果や有益性を確認している。この取組により、地域では参加者の交流や親睦が図られ、誘い合い・声かけなど安否確認等にも有効である。平成30年度までに13地域でボランティアを含め400人以上が参加している。整理体操にちちぶお茶飲み体操も取り入れて合わせて普及を図っている。

(4) 夜間の運動機会の拡大

介護予防拠点施設いきいき館の夜間開放を週3日に拡大し、運動指導、自主的なトレーニングの機会を拡充した。

3 健康危機管理体制の整備充実関連

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、医療機関、地域、警察、消防、郵便局、金融機関、民生委員、ボランティア、福祉・介護関連事業者、老人クラブなどが連携して支えるための会議を年3回開催し、取組について検討・実施している。

(2) みまもりタグを活用した地域の見守り体制整備事業の拡充

国土交通省モデル事業として、認知症高齢者へのタグ所持、一般住民へのタグ所持者感知の専用アプリインストールと建物への感知器設置を推奨・促進し、対象者の位置情報の把握網の拡充を図ることにより、地域における徘徊・行方不明者の見守り体制整備に努めた。

4 その他、JICA(国際協力機構)の研修視察受入れ

政府行政官や数カ国からの視察団20名を受入れ、地域包括ケアや小鹿野中央病院、秩父圏域の取組について研修いただいた。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

記入者名・連絡先 町田 洋巳

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 産科医療と小児・周産期医療の確保関連

(1) 子育て支援総合相談体制の強化

平成29年度保健福祉センター内に設置した子育て包括支援センターを平成30年度から本庁舎内住民生活課に機能を移設し、健診・予防接種を除いた妊娠期・子育て期にわたる包括支援体制を強化した。

2 生活習慣病対策と在宅医療の推進関連

(1) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業の実施

平成30年度よりウォーキングを通して町民が楽しみながら継続して健康づくりを取り組むことを目的とした事業を開始した。令和2年1月までに295人の町民が事業に参加している。(国保分159人、その他136人)

(2) 生活習慣病重症化予防対策事業の実施

医療費適正化、生活習慣病予防を目指し、特定健診受診者の中でHbA1c6.5以上で医療機関未受診者及びハイリスク者に対して、令和2年1月までに受診勧奨、保健指導を49人実施した。秩父市立病院との糖尿病性腎症重症化予防連携指導を1人継続している。

(3) こじか筋力体操の普及

ボランティア養成及び地域の自主運営による通いの場づくりを通じた運動機能向上・介護予防や地域力（自助・共助）の維持向上を目的とした事業の普及を図った。令和元年度（11月末まで）は16地区444人が参加している。（30年度13地区421人）

3 健康危機管理体制の整備充実関連

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、医療機関、地域、警察、消防、郵便局、金融機関、民生委員、ボランティア、福祉・介護関連事業者、老人クラブ等が連携して支えるための会議を年3回開催し、取組の検討・実施している。

4 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業の実施

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談を実施し、令和2年1月までに55人の利用があった。今年度は役場職員を対象としたゲートキーパー養成講座で80人を養成した。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

記入者名・連絡先 保健課 大久保築世 75-0135

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1. 親と子の保健医療対策

(1) 子育て支援総合相談体制と乳幼児健診の強化

平成30年度から本庁舎内住民生活課に機能を移設した子育て包括支援センターでは、他職種や地域と連携した妊娠期からの切れ目ない子育て総合相談体制を強化している。乳幼児健診では、個別相談（歯科・栄養・子育て）を実施するほか、法定健診ではない2歳・5歳児健診を実施し、軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を関係機関と連携して強化している。

2. 在宅医療の推進

(1) 医療と介護の協働による在宅医療の推進

入院時から退院を見据えシームレスな連携を図る地域ケア会議と、医療と介護が協働して在宅療養の支援を行う緩和ケアチームにより、町直営の訪問看護ステーションの在宅看取り件数が令和3年2月現在で26件となり、近年最も増えている。令和2年2年度「私の療養手帳」の発行数は36冊であり、在宅療養の推進に活用されている。

3. 生活習慣病対策の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

令和2年度の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に関する法律の施行に伴い、身体機能の低下予防や生活習慣病の重症化予防を目的にフレイル対策を重点項目に掲げ、集団特定健診等から対象者260人を抽出、専門職が連携して個別指導（ハイリスクアプローチ）や通いの場での教育（ポピュレーションアプローチ）を実施した。

4. 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業の実施

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談を実施し、令和3年1月までに延53人の利用があった。ゲートキーパー養成講座は、ボランティア団体に呼びかけ2回に分けて実施し、53人を養成した。

5. 健康危機管理体制の整備充実

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、医療機関、地域、警察、消防、郵便局、金融機関、民生委員、ボランティア、福祉・介護関連事業者、老人クラブ等が連携して支えるための会議を年3回開催し、取組を検討している。令和2年度は高齢者のための社会資源マップを作製した。

(2) コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

コロナ禍での災害発生を想定した避難所開設訓練を町と障害者福祉施設との共同で実施。感染対策等の課題を検討し、関係機関の連携を推進した。

(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

秩父郡市1市4町と秩父郡市医師会では、令和3年1月14日に新型コロナウイルス感染拡大に向けた取り組みに関する覚書」を締結し、秩父地域で一体的なワクチン接種体制の構築を行っている。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

記入者名・連絡先 保健課 大久保築世 75-0135

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1. 親と子の保健医療対策

(1) 子育て支援総合相談体制と乳幼児健診の強化

子育て包括支援センター（住民生活課）では、令和3年度に助産師を配置し、他職種や地域と連携した妊娠期からの切れ目ない子育て総合相談体制を強化した。保健課では、乳幼児健診において個別相談（歯科・栄養・子育て）を実施するほか、法定健診ではない2歳・5歳児健診を実施し、子育て包括支援センター・関係機関と連携して軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を強化している。

2. 在宅医療の推進

(1) 医療と介護の協働による在宅医療の推進

人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるよう、入院時から退院を見据えシームレスな連携を図る「地域ケア会議」や「緩和ケアカンファレンス」により、医療と介護が有機的に協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和2年度47冊、令和3年度は1月末現在32冊であり、在宅療養の推進に活用されている。

3. 生活習慣病対策の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

身体機能の低下予防や生活習慣病の重症化予防を目的にフレイル対策を重点項目に掲げ、集団特定健診等から対象者を抽出、専門職が連携してハイリスク対象者24人に個別指導を実施し、通いの場での教育（36地区、375人）を実施した。

4. 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業の実施

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談を実施し、令和3年度は1月までに延80人の利用があった。ゲートキーパー養成講座の参加者27人を対象にゲートキーパーの集いも実施した。

5. 健康危機管理体制の整備充実

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

(2) コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

秩父郡市1市4町と秩父郡市医師会では、令和3年1月14日に新型コロナウイルス感染拡大に向けた取り組みに関する覚書を締結し、秩父地域で一体的なワクチン接種体制を構築、1月末現在の2回接種率は87.7%で、追加接種（3回目）を実施中。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

記入者名・連絡先 保健課 南昭一 75-0135

令和4年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1. 親と子の保健医療対策

(1) 子育て支援総合相談体制と乳幼児健診の強化

子育て包括支援センター（住民生活課）では、令和3年度に助産師を配置し、他職種や地域と連携した妊娠期からの切れ目ない子育て総合相談体制を強化した。保健課では、乳幼児健診において個別相談（歯科・栄養・子育て）を実施するほか、3歳児健診においては、オートレフト検査を実施し視能訓練士による総合判定による早期発見・早期治療を実施し、令和4年度は医療機関に結びついた幼児が2名いた。また、法定健診ではない2歳・5歳児健診を実施し、子育て包括支援センター・関係機関と連携して軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を強化している。

2. 在宅医療の推進

(1) 医療と介護の協働による在宅医療の推進

人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるよう、入院時から退院を見据えシームレスな連携を図る「地域ケア会議」、「包括ケア会議」や「緩和ケアカンファレンス」により、医療と介護が有機的に協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和2年度47冊、令和3年度は36冊であり、令和4年度は1月末現在40冊であり在宅療養の推進に活用されている。また、1市4町で取り組んでいる「ACP（人生会議）普及事業」について、令和4年度は国保町立小鹿野中央病院院長による講演会を実施した。

3. 生活習慣病対策の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

身体機能の低下予防や生活習慣病の重症化予防を目的にフレイル対策を重点項目に掲げ、通いの場（いきいきサロン）での教育を実施した。全会場ではないが、令和4年度は歯科衛生士によるオーラルフレイル予防にも取り組んだ。（令和5年1月末現在で16会場199人）

4. 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業と人材育成

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談、ゲートキーパー養成講座を実施した。

5. 健康危機管理体制の整備充実

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

(2) コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

記入者名・連絡先 保健課 大久保順子 75-0135

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期から子育て期まで切れ目ない子育て支援総合相談体制の強化(こども課)
家族支援として、ファミリー面接(本人・夫・こども等)を実施し、夫や本人をとりまく関係者支援をすることで、妊娠期から家族支援の充実を図っている。
2. 乳幼児健診の強化(保健課・こども課)
乳幼児健診において個別相談を実施するほか、3歳児健診においては、オートレフ検査を実施し視能訓練士の総合判定による早期発見・早期治療に繋がっている。また、法定外健診で5歳児健診を実施し、子育て支援センター・関係機関と連携して軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を強化している。

【在宅医療の推進】

1. 地域包括ケアシステムの連携と充実
保健・医療・福祉が「個々を支える」「皆で考える」「つなげる」隙間を埋めていく支援を目指し、「地域ケア会議」「包括ケア会議」「自立支援型地域ケア会議」等により人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活が出来るよう、協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和5年度は25冊（令和6年1月末現在）であり、在宅療養の推進に活用されている。

【生活習慣病対策の推進】

1. いきいきおがの健康ポイント2023の実施
20歳以上の町民を対象に、特定健診やがん検診受検での【必須ポイント】と保健課主催の教室や講演会参加や運動チェックカレンダー利用での【参加ポイント】の合計ポイントに応じてインセンティブとして賞品を贈呈。
2. 糖尿病重症化予防連携事業の実施
糖尿病重症化予防のために、町立病院の医師・看護師・検査技師・管理栄養士・事務職、保健課保健師・管理栄養士で構成されたメンバーで月1回、糖尿病患者の対応や教育入院のリニューアル等について検討している。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. こころの相談事業と人材育成の実施

【健康危機管理体制の整備充実】

1. 高齢者見守りネットワークの推進
2. コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

11 秩父消防本部

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

- 1 秩父定住自立圏事業「救急車の機能向上」により高度救命用資機材の整備を図り「人づくり」により認定救命士養成に必要な座学講習、病院実習を行う。(必要な資器材の整備が図られ、気管挿管等認定救命士の養成を行うことにより、救命処置の高度化が進められている。)
 - ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院）1名
 - ② 気管挿管病院実習（行田総合病院）1名
 - ③ ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）2名
 - ④ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院）1名
 - ⑤ ビデオ喉頭鏡病院実習（行田総合病院）1名
 - ⑥ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）3名
 - ⑦ 処置範囲拡大追加講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）4名
- 2 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- 3 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の救急担当病院の割り振りの調整を行う。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

記入者名・連絡先 黒沢武徳・警防課 21-0122

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1 救急自動車、高度救命処置用資機材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。
（令和元年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。）
 - ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院）1名
 - ② 気管挿管病院実習（行田総合病院）1名
 - ③ ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）3名
 - ④ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院）1名
 - ⑤ ビデオ喉頭鏡病院実習（行田総合病院）1名
 - ⑥ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）8名
- 2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者をドクターヘリや管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。
- 3 埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）により、急性期脳梗塞治療を必要と判断する傷病者を参加医療機関に搬送する症例が増加している。適切な搬送がされているか検証するとともに、最新の脳梗塞治療について外部講師を招いて研修会を実施する。
- 4 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- 5 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の割り振りの調整を行う。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

記入者名・連絡先 四方田敏行・0494-21-0122

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急自動車、高度救命処置用資機材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。

（令和2年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。）

- ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院）1名
- ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）3名
- ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院）1名
- ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）4名

2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者をドクターヘリや管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。

また令和2年10月1日より埼玉医科大学国際医療センターのドクターカー運用に関する協定書を締結し連携を行っている。

3 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。

4 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の割り振りの調整を行う。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

記入者名・連絡先 四方田敏行・0494-21-0122

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急自動車、救急自動車積載資器材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。

（令和3年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。）

- ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院）2名
- ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）3名
- ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院）1名
- ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）4名

2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者に対しドクターヘリ、ドクターカー要請や管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。

3 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。

4 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の割り振りの調整を行う。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

記入者名・連絡先 朽原佳史・0494-21-0122

令和4年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1 救急自動車、救急自動車積載資器材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成及び救急救命士の再教育を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。
（令和4年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。）
 - ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院、熊谷総合病院）3名
（上記のうち、1名は令和3年度から実習が継続していたもの。）
 - ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）3名
 - ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院、熊谷総合病院）2名
 - ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）8名
 - ⑤ 管内救急告示病院、深谷赤十字病院で病院実習による再教育を行う。
- 2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者に対しドクターヘリ、ドクターカー要請や管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。
- 3 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- 4 秩父郡市医師会と連携し初期救急医療の調整及び二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）と連携し二次救急医療の調整、当番日の割り振りを行う。
- 5 救急車の適正利用広報のため、救急講習時における広報及びポスター配布を行う。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

記入者名・連絡先 朽原佳史・0494-21-0122

令和5年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 救急自動車、救急自動車積載資器材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成及び救急救命士の再教育を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。

※令和5年度に実施した認定救急救命士養成の実習及び講習等は下記のとおり。

- ① 気管挿管病院実習（熊谷総合病院）2名
- ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）2名
- ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（熊谷総合病院）2名
- ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）3名
- ⑤ 指導救命士養成研修（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）1名
- ⑥ 管内救急告示病院、深谷赤十字病院で病院実習による再教育を行う。

2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者に対しドクターヘリ、ドクターカー要請や管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。

3 一般市民、小学生、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。

4 秩父郡市医師会と連携し初期救急医療の調整及び二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）と連携し二次救急医療の調整、当番日の割り振りを行う。

5 救急車の適正利用広報のため、ラジオ出演や救急講習時に広報及びポスター配布を行う。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

12 埼玉県秩父福祉事務所

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【在宅医療の推進】

■ 介護人材等の確保

- ・生活困窮者や生活保護受給者の自立を図るため、介護施設等への就労支援や高等技術専門校介護サービス科への就学支援を行った。
- ・ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等での就学を支援した。

■ 介護事業者の指導

- ・介護保険サービス提供事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

- ・生活保護世帯に対し、自立支援に加え、生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨や頻回・重複診療防止の指導を行った。併せて、感染症予防や熱中症予防の啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

- ・秩父保健所と合同で、介護施設等の職員を対象とした「感染症対策研修会」を実施し、集団感染予防の啓発を行った。
- ・介護施設等におけるインフルエンザ等の集団感染の際に、保健所と合同で立入調査を行うとともに、経過の把握、再発防止策の確認等を行った。
- ・介護施設等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 埼玉県秩父福祉事務所

記入者名・連絡先 黒澤 隆久

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【在宅医療の推進】

- 介護人材等の確保
 - ・介護の担い手として外国人を受け入れるための技能実習制度等が整備されたことを踏まえ、介護事業者を対象とした研修会を実施した。
 - ・ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等への就学を支援した。
- 介護事業者の指導
 - ・介護事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

- ・生活保護世帯に対し、経済的支援に加え、生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨や頻回・重複診療防止の指導を行った。
- 併せて、感染症予防や熱中症予防の啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

- ・秩父保健所と合同で、介護事業者の職員を対象とした「感染症対策研修会」を実施し、集団感染予防の啓発を行った。
- ・介護施設等におけるノロウイルス等の集団感染の際に、保健所と合同で立入調査を行うとともに、経過の把握、再発防止策の確認等を行った。
- ・介護事業者等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 埼玉県秩父福祉事務所

記入者名・連絡先 大木正仁・0494(22)6228

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【在宅医療の推進】

■ 介護人材等の確保

- ・ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等への就学を支援した。

■ 介護事業者の指導

- ・介護事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

- ・生活保護世帯に対し、経済的支援に加え、生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨や頻回・重複診療防止の指導を行った。
併せて、感染症予防や熱中症予防の啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、秩父保健所と合同で介護事業者の職員を対象とした「感染症対策研修会」を実施し、集団感染予防の啓発を行った。
- ・秩父保健所と合同で管内福祉施設を訪問し、感染症対策に関する指導を行うとともに、随時、介護事業者に対し、感染防止に関する情報提供及び注意喚起を行った。
- ・介護施設における新型コロナウイルスの集団感染が発生した際に、経過の把握を行い、不足物資の提供等による支援を行った。
- ・介護事業者等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

※一頁に収まるように簡潔に御記入ください。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 埼玉県秩父福祉事務所

記入者名・連絡先 猪野塚将 0494(22)6228

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【在宅医療の推進】

➤ 介護人材等の確保

ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等への就学を支援した。

また、秩父地域就労相談会において、介護事業者と介護職を希望する生活保護受給者のマッチング環境を提供するとともに、ケースワーカーが会場に同行するなどきめ細やかな支援を実施した。

➤ 介護事業者の指導

介護事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

➤ 生活保護世帯に対し、経済的支援に加え、健康診査の受診や生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨を行ったり、嘱託医の助言を踏まえて頻回・重複診療防止の指導を行った。

併せて、感染症予防や熱中症予防のチラシを手交して啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

➤ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、介護事業者の職員を対象に感染症対策に関する指導を行うとともに、感染防止に関する情報提供及び注意喚起を行った。

➤ 介護施設における新型コロナウイルスの集団感染が発生した際に、経過の把握を行うとともに、検査キットや防護服、衛生資材を提供するなど支援を行った。

介護事業者等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

【親と子の保健医療対策】

➤ 母子保護世帯への妊婦検診勧奨や、出産時の児童の一時保護利用を促すなど町、児童相談所と連携し健全な出産環境の整備に努めた。

13 埼玉県秩父保健所

平成30年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(#7119)の周知・啓発に取り組み、急な病気やけがに対する県民の不安を解消するとともに、適正な救急医療の受診を促し、軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減に資するよう支援した。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう産科医療機関、市町等の関係機関を対象とした研修会、会議及び事例検討会を開催するとともに、必要に応じて同行訪問を行った。

■児童生徒の健康保持の推進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員や学校関係者等に対して、薬物依存に関する研修会を開催し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

・データヘルス全体研修において、生活習慣病予防を目的とした特定保健指導の具体的な手法について講演した。
・拠点保健所において、研修会を2回開催し、特定検診・保健指導の受診率に関する課題を抽出するとともに、その対応について検討した。また、圏域の課題について、県全体の研修会において共有した。

■歯科口腔保健対策の推進

・歯科医師会会員、市町職員を対象とした歯科口腔保健連携会議を開催し、障がい者や高齢者の歯科口腔衛生の向上について検討した。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・秩父地域自殺予防対策連絡会において、管内における自殺者の状況について報告を行うとともに、自殺予防対策について検討を行った。
・精神科救急担当者会議を開催し、関係機関と自殺未遂者支援体制の整備に取り組んだ。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・薬物乱用防止に係る普及啓発を目的とした研修会を開催した。
・アルコール依存症自助グループ(AA)の研修会に講師として参加した。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
・災害時における支援の必要性について、関係者に対し研修会を開催した。

■平時における感染症対策の充実

・乳幼児・高齢者・障がい者施設職員を対象に、感染症対策研修会を開催した。
・医療機関の職員を対象に院内感染防止対策研修会を開催した。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・平成30年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。
・新型インフルエンザ患者の発生を想定した訓練等を管内医療機関と実施した。

13 埼玉県秩父保健所

令和元年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(＃7119)の周知・啓発に取り組み、急な病気やけがに対する県民の不安を解消するとともに、適正な救急医療の受診を促し、軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減に資するよう支援した。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町、保育所、学校等の関係機関を対象とした研修会、会議及び事例検討会を開催するとともに、必要に応じて同行訪問を行った。

■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員や学校関係者等に対して、薬物依存に関する研修会を開催し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

・データヘルス全体研修において、生活習慣病予防を目的とした特定保健指導の具体的な手法について講演した。
・拠点保健所において研修会を開催し、特定検診・保健指導の受診率に関する課題を抽出するとともに、その対応について検討した。また、圏域の共通課題について、県全体の研修会で検討した。

■歯科口腔保健対策の推進

・歯科医師会会員、市町職員を対象とした歯科口腔保健連携会議を開催し、高齢者の歯科口腔衛生の向上について検討した。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、会議や研修会を開催した。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・秩父地域自殺予防対策連絡会において、管内における自殺者の状況について報告を行うとともに、自殺予防対策について検討を行った。
・自死遺族の集いを5回開催した。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・薬物乱用防止に係る普及啓発を目的とした研修会を開催した。
・アルコール依存症自助グループ(AA)の研修会にゲストスピーカーとして参加した。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
・災害時における支援の必要性について、関係者に対し研修会を開催した。

■平時における感染症対策の充実

・高齢者・障がい者施設職員を対象に、感染症対策研修会を開催した。
・医療機関の職員を対象に感染症対策研修会を開催した。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和元年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。
・新型インフルエンザ患者の発生を想定した訓練等を管内医療機関と実施した。
・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う帰国者・接触者相談センターを開設した。

13 埼玉県秩父保健所

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

- ・救急電話相談(＃7119)の周知・啓発に取り組み、急な病気やけがに対する県民の不安を解消するとともに、適正な救急医療の受診を促し、軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減に資するよう支援した。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

- ・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町、助産院等の関係機関を対象とした研修会、会議及び事例検討会を開催するとともに、必要に応じて同行訪問を行った。

■児童生徒の健康保持の増進

- ・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員や学校関係者等に対して、薬物依存に関する研修会を開催し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

- ・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

- ・データヘルス計画中間評価に係る研修会において、中間評価の実施に向けたポイントや具体的な手法について講演した。

■歯科口腔保健対策の推進

- ・歯科診療における感染対策について、歯科医師会との連携を図った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

- ・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、会議や研修会を開催した。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

- ・秩父地域自殺予防対策連絡会等において、関係機関とともに自殺予防対策について検討を行った。
- ・自死遺族のつどいを4回開催した。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

- ・管内中高生に薬物乱用防止グッズ等を配布し、啓発活動を実施した。
- ・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

- ・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
- ・関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■平時における感染症対策の充実

- ・高齢者・障がい者施設及び市町職員を対象に、感染症対策研修会を開催した。
- ・医療機関及び市町職員を対象に、新型コロナウイルス感染症をテーマとした医療安全研修会を開催した。
- ・福祉施設でのクラスター予防のため、特養等の宿泊型施設に対し、感染症対策の実施支援を行った。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

- ・令和2年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。
- ・診療所職員を対象に、個人防護具着脱実習を開催した。
- ・新型コロナウイルス陽性患者発生時対応について、検査実施医療機関に周知・依頼した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父保健所

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(#7119)の周知・啓発に取り組んだ。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町を対象とした会議を開催した。

■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修を実施し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

・国保データベースシステム活用についての研修会に市町とともに参加し、更なるデータヘルスの推進を図った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、会議や研修会を計画したが、コロナ禍のため中止とした。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・自死遺族のつどいを3回開催した。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内中高生に薬物乱用防止資材等を提供し、啓発活動を実施した。

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努め、AAが主催するセミナーに参加した。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
・関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和3年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。

・保健所職員を対象に、个人防护具着脱実習を開催した。

・新型コロナウイルス感染症の医療・検査体制、自宅療養者の支援体制について、管内の医療機関、市町等との情報共有、検討を行い、連携強化体制整備に努めた。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父保健所

令和4年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(#7119)の周知・啓発に取り組んだ。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町等を対象とした会議及び研修会を開催した。

■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修を実施し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

・国保データベースシステム活用についての研修会に市町とともに参加し、更なるデータヘルスの推進を図った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため会議や研修会を実施し、支援機関等への知識向上を図ると共に、連携体制の構築に努めた。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・「語らいのつどい」を5回開催し、自死遺族等への支援に努めた。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。AAが主催するセミナーにゲストスピーカーとして参加し、保健所の取組みについて周知を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・医療機器依存度の高い難病患者等に対して、災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。

・難病対策地域協議会や支援従事者研修会を開催し、災害時等の危機管理体制の整備に努めた。また、関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和4年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。

・管内保育施設を対象に、「感染症研修会」を開催した。

・新型コロナウイルス感染症の医療・検査体制、自宅療養者の支援体制について、管内の医療機関、市町等との情報共有、検討を行い、連携強化及び体制整備に努めた。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父保健所

令和5年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(#7119)の周知・啓発に取り組んだ。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町等を対象とした会議及び研修会を開催した。

■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修を実施し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

・秩父保健所管内地域・職域連携推進会議を開催し、地域保健と職域保健の連携を図り、生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んだ。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため会議や研修会を実施し、支援機関等への知識向上を図ると共に、連携体制の構築に努めた。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・「語らいのつどい」を6回開催し、自死遺族等への支援に努めた。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。AAが主催するセミナーにゲストスピーカーとして参加し、保健所の取組について周知を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・医療機器依存度の高い難病患者等に対して、災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
・難病対策地域協議会や支援従事者研修会を開催し、災害時等の危機管理体制の整備に努めた。また、関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和5年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。
・管内高齢者施設等を対象に感染対策研修会を開催した。
・新型コロナ対応を振り返り関係機関と一層の連携を図るため、管内市町・病院・保健所による会議を開催し意見交換を行った。
・新型コロナ対応の経験を踏まえ次の新興感染症発生に備えるため、秩父保健所健康危機対処計画(感染症編)を策定した。